地域連携推進会議　　議事録

日時
令和８年１月　２２日　15 時～16 時
場所
たろちゃんち７豊山リビングにて

参加者
７号棟　　津村様
障害福祉事業・経営者　　北名古屋市　Ｂ型管理者　井畑様
地域代表者　　地元家族会の皆様５名
他利用者　親族　　余吾様のお母様　リモート参加
サービス管理責任者　　長谷川
相談支援事業相談員　　宮﨑様
支援員責任者　　山田

1．グループホームの運営状況と支援内容
共同生活援助「たろちゃんち」の事業所拠点と運営状況について説明した。各ホームで行っている日常生活上の支援を紹介し、利用者一人ひとりの障害特性や生活上の困りごとに応じて、声かけや見守り、生活環境の調整などを行っていることを説明した。ホーム内は共用部のみ見て頂き、生活状況を確認して頂きました。食事についても記録している画像を確認。手づくり・栄養管理師監修である旨もお伝えしました。グループホームの利用とはどのようなものかをインフォグラフィックで作成した資料をお渡しし、説明。利用までのフローも説明しました。

2．医療・相談支援・日中活動先との連携
訪問看護や、利用者の状態と必要性に応じた各診療科の訪問診療について説明した。日頃の健康状態や生活上の変化を必要に応じて医療関係者と共有し、受診や日常の健康管理につなげていることを伝えた。また、基幹相談支援センター、担当の相談支援専門員、日中支援事業所との連携について説明した。ホームと日中活動先での様子を共有し、関係者と支援方針をすり合わせていることを伝えた。服薬についての医師へのカンファレンス申し込みや意見書なども提出し、利用者の精神安定に日々目を配っていることもお伝えした。

3．支援の見直しと安全管理
定期的なアセスメント、モニタリング、サービス担当者会議を通じて、本人の意向や生活状況を確認し、支援内容を見直していることを説明した。地域の方が心配されるような事

件・事故の発生は非常まれであることを伝え、日頃の見守りや関係機関との情報共有について説明した。

4. 決算書の提示と他ホームの遠隔確認

決算書を提示し、現在の事業運営の状況を説明した。他のホームについては、各ホームの共用部に設置している防犯カメラの映像を用い、共用部の様子を遠隔でご覧いただいた。

5. 災害時の留意事項と閉会

災害等が発生した際には、地域にあるグループホームや、そこで生活する利用者の存在にもご留意いただきたい旨を伝えた。共同生活援助の運営について、引き続きご理解を賜るようお願いし、閉会した。

